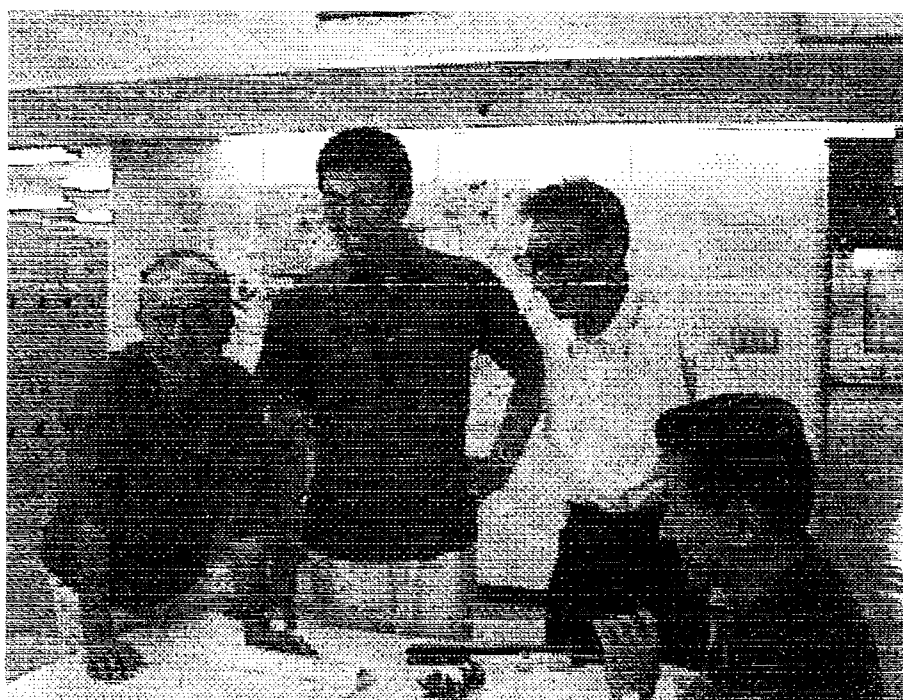


1971年 8月7日 第三種郵便物認可（毎月6回 1の日・6の日発行）
1998年8月30日発行 SSKA増刊・通巻3095号

SSKA

ああるぴい

神奈川支部会報第8号



私たち自身で
治療法の確立と
生活の質の向上を目指す

J R P S 神奈川支部

神奈川支部支援会員（順不同）

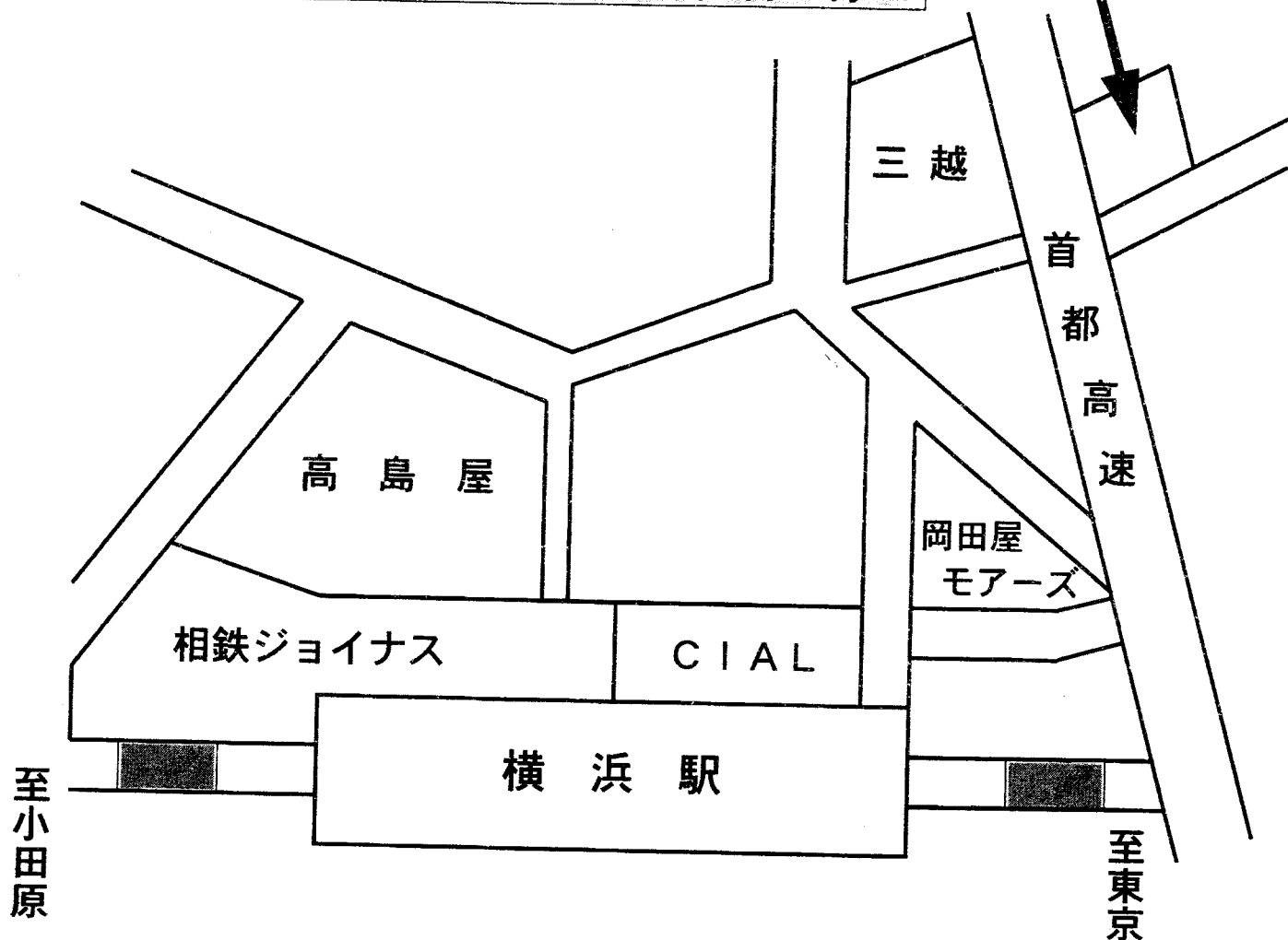
- ・（株）東栄エンジニアリング
- ・（株）ウイルマン
- ・（有）結伸工業
- ・ 英弘精機（株）
- ・ フォトプレシジョン（株）
- ・（株）ナカダ技研
- ・ 高木 緑様
- ・ 木村邦雄様
- ・ 細川和明様
- ・ 豊嶋識明様

☆ご支援に心より感謝いたします☆

神奈川県民サポートセンター

045-312-1121

横浜駅西口より徒歩約5分



目 次

—	J R P Sの活動予定	—	2
	●J R P S神奈川の活動予定		2
	●「山本君を応援に行こう」		2
—	情報コーナー	—	3
	●連載 よもやま情報（4）		3
	●保健所関係の講演会・相談会の日程		4
	●ロービジョンに関する講演会・相談会		4
	●七沢リハビリでロービジョンクリニックを開設！		5
	●第四回世界網膜の日・開催の案内		6
	●2002年・世界大会の日本開催が決定！！		7
	●東京連絡会からのお知らせ		8
	●特定疾患受給者証の登録者		8
—	投稿	—	9
	●神奈川支部総会に出席して		9
	●理療科(盲学校)奮戦記（2）		11

— J R P S の活動予定 —

● J R P S 神奈川の活動予定

- 9月 5日(土) 午後1時～4時
ミニ集会 (サポートセンター 7階 701)
- 9月26日(土) 午後1時～4時
ミニ集会 (サポートセンター 7階 712)
- 10月 4日(日) 午前10時～午後4時
得々講座・RP医療とロービジョン
(サポートセンター 4階 402)
- 10月24日(土) 午後1時～4時
ミニ集会 (サポートセンター 3階 306)
- 11月 7日(土) 神奈川ゆめ国体の応援
集合場所等はミニ集会、本部会報でお知らせ
します。
- 12月26日(土) 午後1時～午後4時
ミニ集会兼忘年会
(サポートセンター 7階 711)
- 1999年
1月 9日(土) 午後1時～4時
ミニ集会 (サポートセンター 7階 711)

● 「山本君を応援に行こう」

J R P S 和歌山の山本さん(40才)が神奈川ゆめ国体に出場します。エントリー種目は、100m走・走り幅跳び・ハンドボール投げ だそうです。本人によれば全て和歌山の新記録を引っさげての参加との事・・・

本人からの要望です！ 「応援に来て下さい！」
成績は期待せず(参加する事に意義がある)応援に行きましょう。
当日は横断幕も掲げて応援して下さい(本人希望)と懇願して

いました。（希望はかなえることにしました）11月のミニ集会はゆめ国体の応援・兼ハイキング（？）に変更します。

◇集合場所：県民センター1階ロビー（横浜駅西口三越裏）
（ミニ集会会場と同じです）

◇集合日時：11月7日（土）
午前10時20分（10時30分出発）

◇ 行き先：横浜国際陸上競技場（新横浜）

※お弁当は各自持参して下さい。

※会場までと、帰りの新横浜駅までは団体行動です。

※解散は午後3時30分予定。

— 情報コーナー —

●連載 よもやま情報（4）

◇視覚障害者にもわかりやすいカタログを発行しているところ

- ・ライオンでは点字・テープ・拡大文字・フロッピーディスクによる商品カタログを出しています。必要な方は03-3621-6643までお申し込みください。
- ・コープ神奈川ではテープによるカタログを出しています。詳しくは045-473-1009環境福祉推進室まで。

◇宅配するコンビニ登場

am・pmが1回200円で店の商品を宅配します。詳しくは03-5211-3805まで。近くの店の紹介などしてくれます。

◇福祉の苦情受付（横浜市）

福祉調整委員会で横浜市の福祉の苦情を受け付けます。

045-671-4045

●保健所関係の講演会・相談会の日程

神奈川県では各地の保健所（保健福祉事務所）で網膜色素変性症に関する講演会・相談会が開催されています。今後下記で予定されています。参加は事前予約が必要です。

8月28日（金）午後1時30分～

茅ヶ崎保健福祉事務所

電話0467-85-1171

医療講演：増原先生（茅ヶ崎市立病院）

9月10日（木）午後1時30分～

横浜市中保健所

電話045-224-8181

医療講演：高野先生（横浜市立大学）

9月17日（木）午後1時30分～

相模原保健福祉事務所

電話0427-55-1121

医療講演：若倉先生（北里大学）

10月 1日（木）午後1時30分～

三崎保健福祉事務所

電話0468-82-6811

医療講演：高野先生（横浜市立大学）

10月21日（水）午後1時30分～

津久井保健福祉事務所

電話0427-84-1111

医療講演：若倉先生（北里大学）

※他に今年中の予定があるのは、横浜市栄保健所・鶴見保健所
神奈川保健所です。

●ロービジョンに関する講演会・相談会

中途視覚障害者の為の得々講座、今回は神奈川県リハビリテーション病院眼科の仲泊先生とライトホームの末田先生を招いて、

私達の生活に役立つロービジョンについて、講演と皆さんの相談にのって頂く事になりました。又、当日は視覚障害者用コンピュータ拡大読書機、日常生活グッズを展示して体験コーナーも設置します。

◇日時： 平成10年10月4日（日）

午前10時～午後4時

◇場所： 県民サポートセンター4階402号室

（横浜駅西口三越裏）

◇内容： 午前の部 講演

午後の部 質疑応答・相談会

展示機器の紹介・体験

◇参加費： 500円（資料代）

弁当（1000円）希望の方は9月25日迄に連絡下さい。

（FAXでも可）

◇問合わせ先： 04

（昼）

04 *****

（夜）

FAX； 04 *****

中村善暁

●七沢リハビリでロービジョンクリニックを開設！

今年の4月より、神奈川県総合リハビリテーションセンター、神奈川リハビリテーション病院眼科にロービジョンクリニックが開設されました。文字が見えにくくなった方、暗いところなどを歩くのに不安な方、職業での問題をお持ちの方など、眼に関することでお困りの方を対象に、眼科医と視覚障害者専門職員（併設の視覚障害者更生施設ライトホーム）により、医療から福祉への一貫した援助をいたします。

◇内容

- ・眼科での、眼科疾患の診断、予後判断、視機能評価（視力・視野検査など）、補助具（拡大読書器、ルーペ、色レンズなど）の処方。

- ・リハビリ・職業などに関する相談または補助具操作訓練、歩行訓練、点字・パソコン訓練、日常生活訓練、レクレーションスポーツの紹介など。

- ◇診療日： 毎週木曜日 午前10時30分より
要予約（電話：0462-49-2528）
- ◇住所： 厚木市七沢516
神奈川県総合リハビリテーションセンター
神奈川リハビリテーション病院 眼科
- ◇交通： 小田急本厚木駅よりバスにて25分、愛甲石田駅より20分、伊勢原駅より20分
「神奈川リハビリ」下車

●第四回世界網膜の日・開催の案内

9月27日は世界網膜の日です。JRPSでは講演会、RP研究助成受賞者の挨拶、補助機器の展示、全国から参加した会員の交流会と盛りだくさんの内容で開催します。他地区の会員との数少ない交流の機会です。みんなで参加しましょう！

- ◇日時：平成10年9月27日（日）
午前10時～午後4時
- ◇場所：東京都高年齢者就業センター地下2階講堂
電話03-521-2307
- ◇交通：JR中央線・飯田橋駅（水道橋側出口）下車、徒歩8分
※電車とホームの間があいています、注意して下さい
当日は飯田橋駅・水道橋側出口から誘導ボランティアが案内致します。
- ◇内容：第10回世界大会の報告 小野塚会長
医療講演（豊かな生活の工夫）鈴木先生（国リハ）
RP助成研究受賞者挨拶 坂本先生（九州大学）
大黒先生（札幌医大）
補助機器プレゼンテーション、交流会

※弁当は各自持参、食堂、コンビニは近くにあります。

● 2002年・世界大会の日本開催が決定！！

皆さん、サッカーのワールドカップで浮かれていられなくなりました。去る7月の国際網膜色素変性症協会の理事会で、2002年の世界大会の開催国は日本に決定しました。（フィンランドも開催を希望していました。世界大会とはどのような大会なのか？ほとんどの会員が知らないのが実情です。今後世界大会について連載して、内容を細かくお知らせします。

第一回目は、世界大会では何がおこなわれるかを紹介します。

- ◇ 世界中の優秀なR Pの研究者が一同に集い、それまでの研究成果を発表し、研究者間の研究会が開催されます。もちろん日本の優秀な研究者も多数参加されます。色々な方法でR Pの治療法の開発に取り組んでの現状と、将来予測等、私達がもっとも感心を持っていることが日本で、しかも私達がじかに聞けるのです。これを契機に日本での研究にも一層の拍車がかかると期待できます。
- ◇ 会員国（34ヶ国？）から代表を含め、多数の会員が参加して、各国の活動、活動の成果が報告されると同時に、交流も活発に行われます。多数の国で、R P研究基金助成で新しい遺伝子の発見等の成果が出ているそうです。ホスト国の利点を生かして先輩国の活動を学び、J R P Sの今後の活動に役立てる絶好の機会が訪れたのです。

今まで世界大会を開催した国では、マスコミがとりあげ、R P患者へのI R P Aの広報が行き届き、会員が急増しています。日本の研究者に対してもかなりの刺激になり、R Pの研究に取り組んでくれる眼科医、理化学者が増える事が期待できます。又、行政のR Pに対する取り組みが大きく変わった国も有ります。マスコミが取り上げる事による社会への啓発も重要な要素です。世界大会に向けての神奈川支部の取り組みはこれから皆さんに提案していきます。世界大会を成功させるのは会員の力です。
※この件に対する提案等編集部まで寄せて下さい。

●東京連絡会からのお知らせ

東京連絡会では下記要綱で医療講演会を開催することになりました。神奈川の皆様の参加をお待ちいたしております。

講演：網膜色素変性症について

講師：山下英俊先生（東京大学）

日時：9月13日（日）午後1時開場

場所：両国公会堂

東京都墨田区横綱1-12-10

電話03-3622-4753

参加費：500円（定員150名）

※当日12時30分よりJR両国駅西口改札口>

からボランティアが会場まで案内します。

※お申し込みは釜本まで

電話：03-3341-6351

FAX：03-3341-6387

●特定疾患受給者証の登録者（平成10年3月31日現在）

神奈川県総数 1,135人（内70才以上284人）

市・町	男	女	総勢
横浜市	128	183	311
川崎市	43	66	109
横須賀市	28	29	57
平塚市	9	8	17
大磯町	0	2	2
二宮町	2	3	5
鎌倉市	9	15	24
逗子市	6	4	10
葉山町	0	0	0

市・町	男	女	総勢
藤沢市	12	22	34
茅ヶ崎市	15	19	34
寒川町	2	1	3
小田原市	18	11	29
箱根町	0	2	2
真鶴町	2	0	2
湯河原町	1	3	4
相模原市	28	59	87
三浦市	3	7	10

市・町	男	女	総勢
厚木市	13	16	29
海老名市	8	8	16
座間市	5	10	15
愛川町	4	2	6
清川村	0	0	0
南足柄市	4	3	7
中井町	2	2	4
大井町	1	0	1
松田町	2	0	2
山北町	2	0	2

市・町	男	女	総勢
開成町	1	3	4
城山町	4	0	4
津久井町	4	2	6
相模湖町	0	1	1
藤野町	3	0	3
秦野市	6	5	11
伊勢原市	3	6	9
大和市	13	14	27
綾瀬市	7	7	14

上記人数は一般分（70才未満）です。

※資料提供：神奈川県衛生部保健予防課疾病対策班

— 投 稿 —

●神奈川支部総会に出席して

宮本 久 （川崎市）

去る6月7日厚木市婦人会館で約80名の会員及び、関係者が集まり、第3回J R P S神奈川支部総会が盛大のうちにもスムーズにとり行われました。大会の運営にあたられたスタッフの方々、本当にご苦労様でした。心より感謝申し上げます。また平成10年度の新役員が紹介されましたが、大半が私の息子や娘くらいの若い方々で本当に頼もしく感じました。

午後はテーマ別に3つのグループに分かれましたが、私はCグループの「家族の相談コーナー」という分科会に参加させて頂きました。

私は今から7～8年前、色変であることを医師より宣告され、誰でもがそうであったように私も将来の人生に失望し、不安に襲われました。早速その事を妻に話しましたが、日頃の不満も手伝ってか非常に冷たい返事が返ってきて一段とくらい気持ちになったことを憶えております。誠にお恥ずかしい事ではありますが、それ以来眼の事について口にする勇氣もなく、妻の理解を得る努力もしていないのが実情です。こんな家庭環境にあったので迷わず「家族の相談コーナー」を選んだわけです。分科会には座長も入れて10名の方が参加されましたが、家族との葛藤は形や程度こそ違うものの、皆さんの発言から家族間の問題は私だけでない事が良く分かりました。しかしながら、葛藤とか心の行き違い等はやはり解消すべき事柄だと思います。家族内でも差別扱いを受けるとプライドにも触れる事になるのではないかという発言もありました。確かに家族の協力を受けなければなりません、義務的な感覚でやられると自尊心が傷つけられるという気持ちも理解できます。障害にかかわりなく普通の家族の一員としての思いやりのある行動が理想的かもしれません。とは言ってもやはり私達は程度の差こそあれ、眼の事で不自由している事も事実ですから、現実としては障害を念頭において行動してくれる事を期待せざるを得ないと思います。例えば、テーブルの上の物を倒す事は日常茶飯事です、こんな時『不注意』という言葉で片付けられると非常に悲しい事です。また、私が家の中で歩く時よく物につまずきますが、ちょっと家族の者が私達の眼の事を考えてくれたら物を置かないという配慮がなされると思います。そして、私達はそうしてくれる事に心より感謝の念を持ち、それを態度に表せば大変良い家族関係が出来ると思います。こんな事を考えるのは甘えだとお叱りを受けそうな気が致しますが、結論的には今回取り上げた「家族の相談コーナー」という様なテーマを家族共々参加して話し合える事が出来たらいいなあと感じました。そして、そのための努力を私達もしなければならぬと感じました。

●理療科(盲学校)奮戦記(2)

佐々木 裕二(小田原市)

～いよいよ始まった学校生活～

まず教科書が配られた。解剖学・生理学・経絡経穴概論…、ぶ厚い本。えっ英語もあるの！

科目は少ないものの教科書の厚さは結構なものだった。大変なのは点字の人で、墨字の1冊が3～4冊にもなっている、しかもひとつひとつがぶ厚い。みんな教科書を家へ持って帰ろうか学校に置こうかガヤガヤと話し合った、結局学校に置いて必要な時だけ持って帰ることに落ち着いた。

一日は基本的に6時間授業で座学が3～4時間、実技が2～3時間あります。英語は週に2時間、体育も1時間あります。

各教科とも最初は自己紹介と先生のお話し。視力はどれくらい？何の病気？テストは墨字？点字？テープはいらないの？…好きな異性のタイプは？

クラスで色変は私のほかにブラジルからの留学生のE君がいました、しかし先生や他のクラスにも多くいるとのことでした。ちなみにE君は23才で光覚が残っている程度、小さい頃は見えていたが霧がだんだんと濃くなって今は四角い窓が分かるくらいだという、こんなふうに進むのかなとちょっと参考になった。E君は日系三世で日本語も点字もぺらぺら、その上ブラジルで学校と治療院を合わせて4年経験しているのでこの道では先輩であるし実際上手だ。

クラスにはほかに糖尿から眼底出血の人・ベーチェットの人・原因不明の人と視覚障害といっても様々な人がいることを改めて感じさせられました。

学校では先生はもちろん生徒も大変親切です、まあ理療科は大人だし中途障害ということで特別なのかもしれません…。

しかしある先生の話ではこのクラスは比較的まともですねと言う、年をとってるが故の頑固、変わった人も結構いるとのことでした。

それはともかく、今のところ大変親切です。やはりみんな不自由さが分かるだけに歩くときは手を取り、何かを落としたと言えはみんなで探し回ります。何しろ先生もほとんどの方が目が不自由なのですから。

～ 実 技 ～

実技は按摩と鍼が週に5時間、マッサージが2時間、指圧が1時間です。白衣に着替えてペアになって練習します、特にテキストもなく先生の手技をみんなで取り囲んで見てはやったりやられたりして覚えます。今は基本となる手技を習っています。

なかでも按摩の時間は一番の楽しみです。準備運動の指立てはちょっときつけれどペアでの練習では「アッ。」とか「そこそこ。」とか「気持ちいい～」とか誤解されそうな言葉が飛び交います。なかには、「痛ててーっ。」というのがありますがご愛嬌。なごやかに話しながらの毎日です。

鍼は打ってもらったことはありましたが、手にするのはここにきて初めてでした。鍼の授業は非常に慎重に始まりました、すぐに鍼を持つことはなく、何時間もボールペンや鍼管を指で回していました。初めて鍼が配られたときは感動的でした、「へえーこんなに細いんだ。」「これで治療ができるんだ。」と。

最初は布やゴム製の台で練習するのですが、次は自分の足に刺入します。鍼が皮膚を切る感覚、組織を貫いて進入する感覚、痛み、ひびき…。次はいよいよ相手に刺入です、痛みや感覚が分からないだけに難しい、鍼からの情報で患部の状態が分かるようになると先生は話されるのですが…。初めての経験はちょっと緊張しながら指先の感覚を研ぎすます訓練です。

～中間試験～

6月の下旬は中間テストだった。理療科は前期後期制で前期は9月までで期末試験は9月下旬だという。

実技の試験は授業中に行うものが多く先生に対して決められた部位の按摩なりマッサージなり手技を施すというものです。

鍼の試験では『片手挿管』というのがあって、1分間に何回できるかチェックされる。右手の小指と薬指で持った細い管に同じく右手の親指と人差し指で持った鍼を挿入するものです。ところがここで大失敗！なんと鍼を落としてしまったのです、練習中にもなかったことなのに…。

今は夏休みです、20数年ぶりの…、それももうあと半分、もっと勉強する予定だったのになあ～。残暑お見舞い申し上げます。

—ご報告—

設立総会のお弁当代返金分をご寄付下さいました会員の皆様。
去る6月7日に開催されました第3回総会の折に募金箱へ入れ
させて頂きました。ご協力に感謝いたします。

(元会計 二宮利江)

—お願い—

使用済みのテレホンカードがありましたら、J R P S 神奈川
支部事務局のほうまで持ってきて下さいますようお願いします。

J R P S 神奈川支部会報の点字版、テープ版を希望
される方は神奈川支部事務局までご連絡下さい。

神奈川支部事務局：中村善暁

〒253 神奈川県茅ヶ崎市萩園1445-6

TEL. 04 *

FAX. 04 *

—◇編集後記◇—

世界的な異常気象の中、日本もあまりパツとしない
天気が続きましたね。おかげさまで夏バテしないで
済みそうです。みなさんはどうでしたか？何年ぶり
かの夏休みを迎えた人もいて、何ともうらやましい
限りです。編集部ではみなさんからの投稿をお待ま
ちしています。何か気付いたこと、感じたこと、
役立つ情報等ありましたらお便り下さい。

発行人：身体障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

編集：J R P S 神奈川支部会報編集部
阿部直之

〒213 神奈川県川崎市高津区

TEL・FAX 04 *

E-mail UE *

定価 200円